

# 部活応援隊が行く!!

ボランティアII何かをするための第一歩を踏み出す力を育む

## JRC(ボランティアクラブ) 伊勢学園高等学校

伊勢ボランティアセンター協力のもと、老人ホームでのお手伝いや障がい者施設のレクリエーションに参加。校内では放課後の清掃など、積極的に活動する伊勢学園高等学校JRC。地域の方とコミュニケーションをとることで人を思いやる気持ちを育ててほしいという思いを、顧問の河内先生は生徒一人ひとりに伝え続けています。生徒さんへの思い、そしてこれからの活動を河内先生と部長の大木さんにお聞きしました。

### Q1 部活を通じて生徒さんに伝えたいことを教えてください。

A1 (河内先生) 様々な人との交流をもち、コミュニケーションをとることで、相手がどのようなことを考えているかを理解し、行動して欲しいです。また、人を思いやる気持ちを持ってもらいたいです。ボランティアというものは、まずは行動を起こそうという気持ちを持つことから始まります。「何かお手伝いすることはありますか」という、相手に寄り添う気持ちを持って行動することが大切であるということを読んでほしいです。



顧問 河内 由佳 先生

### Q2 どんなことを学ぶことができましたか?

A2 ボランティアに行く子どもから大人まで交流ができます。様々なお手伝いをするなかで、文化や特色を知ることができました。



フリモAR アプリをダウンロード! 写真にかざすと生徒さんのコメントが聞けます。

### Q3 ボランティア活動でよかったことを教えてください。

A3 障がいを持たれた方とどうコミュニケーションをとりたいかわからなかったのですが、たくさん話をしたり、行動したりすることで笑顔になってもらえたときは嬉しかったです。実は、人と話すのが苦手でしたが、コミュニケーション能力がしっかりと身につきました。



部長 大木 彰子さん (おおぎ しょうこ)

### Q4 後輩に伝えたいことを教えてください。

A4 話すのが苦手でも私みたいに好奇心旺盛になれます!



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!